

2008年8月23日～24日

- [ルート] 大沢川台冷水岳
 [参加者名] CL S.NARITA 他7名
 [コースタイム] 23日 フェリー埠頭 4:00→大沢川西股沢・朝日股沢分岐 6:20～6:53→
 二股 8:47～9:12→上の二股(675m 地点)11:40～12:15(昼食、タイムアウトで登頂を
 断念して撤退)→二股 14:40～15:00→西股沢・朝日股沢分岐 16:50(露營)
 24日 5:00 起床 増水のため尾太岳登山を中止 西股沢・朝日股沢分岐
 6:30→フェリー埠頭 9:20

[登山口までのアプローチ、登山口の様子]

津軽ダムの取り付け道路を進み、大沢橋を渡るとすぐに左折して大沢林道に入る。途中に大きな落石や路肩崩壊箇所が2カ所あったが、慎重に車を進めて、何とか西股沢・朝日股沢分岐に到着する。

登山支度し、最初は大沢西の股林道を進むが、すぐに林道はやぶ状態となり、細い踏み後が続く。二股で溪流シューズに履き替え、入渓する。お昼前にタイムアウトで登頂は無理と判断し、来た道を西股等分岐に戻る。幕営地は林道を200m程進むと林道脇に大きな広場があり、そこを幕営地とする。翌日は沢の増水のため登山は中止し朝食後青森に戻る。

[山行記録]

フェリー埠頭から車3台に分乗して、登山口の大沢川西股沢・朝日股沢分岐に向かう。大沢林道に入ってから、川沿いの中腹に切られた林道を進むが、川から2～300mもの高さに位置し、しかも途中に落石、路肩崩落箇所があって、運転手に緊張が強いられる。

分岐に車を置いて、日帰り荷物と沢歩きの装備を持って登山を開始する。最初は営林署の作った西の股林道を進むが、最近に使われていないためすぐにやぶ状態になって、かすかな踏み跡が続いている。足元に注意しながら進むが、やぶの下に浮き石が隠れていて歩きにくい。途中に大きく崩落している箇所があり、落石跡が300m下の河原まで続いているのが見えるので、緊張する。一人ずつ慎重にトラバースする。予定では1時間程度で到着するところが、約2時間もかかって二股にたどり着いた。

二股で、登山靴から溪流シューズに履き替える。水は澄んでいるが水量は多いとのこと。この週前半にまとまった雨が降ったため、当日は曇り空で雨は落ちていなかったものの、増水していたようだ。そんな訳で、沢登りは最初から手こずった。水深が深い、流れが速い、小滝が連続しているが水量が多いせいで簡単に越えられない……etc などの理由で、ちょっとした滝も高巻きしなければならないといった状況で、なかなか高度が稼げないのである。もっとも西股沢の源流のガラ沢(営林署の地図の表記)はとても綺麗な沢で、ちょっとごろ石が多くて、なめ床やゴルジェなど沢の雰囲気はちょっと物足りない(個人的には、八甲田の下寒水沢の方が、沢の良い所が凝縮していると感じる。)ものの、白神山地の源流に迫るという初期の目的は十分達せられた山行になった。

標高675mの沢が分岐している地点で、頂上までは相当かかりそうだとの見通しから、時間切れで撤退が決定される。その場で昼食となり、昼食後同じ道に戻るようになった。途中、20mの滝を高巻きした地点では、下りに S.H さんが細引きを出して、確保されながら慎重に下る。二股で再び溪流シューズから登山靴に履き替え、崩落箇所のトラバースも無事に越え、車をデポした地点まで日没前に戻ることができた。

車に戻ると早速幕営地の設営にかかる。まず、全員で薪探しをしてたき火を焚く。それからターフを張って寝床を確保する。その後、各自がビールを冷やし、夕食の支度に入るが、ここで事件が起こる。今夜のメニューはカレーだったが、食担が用意したのは、レトルトのご飯とカレールーが8個づつ(レトルトカレーではなくてカレールーの箱が8個用意されていた)。カレーの箱には10種類の野菜がとけ込んだ

「とろけるカレー」とあった。食担は10種類の野菜が入ったレトルトカレーと勘違いしたようだ。仕方なく夕食はご飯に具のないカレースープをかけた、実にシンプルなカレーご飯ということになった。(結構食べれる!)でも、食担の名誉挽回で作ってくれた産直ミズの油炒めは絶品でした。

夕食が始まる頃から降り出した雨は、しとしとと止まず、シェラフが濡れるのがいやで、それぞれ車の中で寝ることにし(一人朝までターフの下で寝た正真正銘の山男を除いて)た。翌日は雨は降っていなかったが、川の水は昨夜より増水していることから、2日目の尾太岳は中止となり、朝食後撤退となった。

反省会では、来年今回の2山をそれぞれ1泊2日の予定でリベンジすることを誓い合って解散した。

報告 M.FUKASAWA

